

「ハツカツオン」 パートナーシップ資料

Agenda

- 3 ハッカソンとは？
- 4 取り組む理由
- 5 プログラムについて
- 6 協賛について
- 11 予算概要
- 12 運営体制

ハッカソンとは？

ハッカソンとは、地域内外の開発者などが
地域を訪れ社会課題に触れ、プロジェクトを開発する
地域密着型ハッカソンです。

今年度は事前に開催するワークショップや調査なども
組み合わせより包括的な内容で
Living Lab Kesennumaの一部として実施します。

Why?

生成AIやブロックチェーンをはじめとする先端技術は社会を大きく変える可能性を持っています。

しかし、その恩恵は必ずしも地域社会や公共課題の現場に届いているとは言えません。

一方、日本は人口減少、高齢化、地域産業の衰退など世界に先駆けて複雑な社会課題に直面しています。

**社会課題の解決に使わずして
私たちは何のために技術を開発するのでしょうか。**

本プロジェクトは、日本の課題に対して、同じ課題を抱える宮城県気仙沼市をフィールドとして取り組みます。

行政、事業者、技術者、そして市民が共に学び、共に実践することで、地域の生活文脈に根ざした新しい技術社会実装のモデルを創る挑戦です。

私たちは、地域を技術の受け手ではなく未来の社会を形づくる実験場へと変えていきます。

プログラムについて

地域外：先端技術

開発者
自治体 事業者
市民

3. ハッカソン（開発）

4. 発表＆レセプション

地域内：社会課題

2. 滞在型プログラム

1. 事前ワークショップ

プログラム紹介

1. 滞在 & 開発プログラム

日程：9月28日～10月11日

対象：国内外の開発者

定員：10名

国内外の開発者やデザイナーが一地域に滞在し、自治体・市民・NPO・産業と連携しながら、課題理解からプロトタイプ開発、社会実装に向けた検証を目指す。

昨年度の様子

高い技術力を持つAI/ブロックチェーン開発者が集まり、観光や水産など地域課題をテーマに開発を実施。水産課の協力による魚市場の視察などを行い、現場理解を深めながらプロジェクトを進めた。

また、開発者が互いに学び合う環境も生まれ、地元の人や地元企業、協賛企業の社員を含む多様なバックグラウンドの参加者による交流と共創が実現。最終的に8件のプロジェクトが提出され、その取り組みは地元メディアにも取り上げられた。



プログラム紹介

協賛企業参加可

2. 課題インプット

日程：9月30日&10月1日
対象：プログラム参加者 他
定員：20名

国内外の開発者やデザイナーが一地域に滞在し、自治体・市民・NPO・産業と連携しながら、課題理解からプロトタイプ開発、社会実装に向けた検証を目指す。

昨年度の様子

気仙沼市企画課をはじめ、観光課・水産課が参加し、人口減少や関係人口創出など地域課題について開発者へ共有。参加者は観光、水産、通信、政策など多様なテーマで議論を行い、自治体職員へのヒアリングを通じて課題理解を深めた。また、協賛企業であるネクストウェア株式会社から参加した開発者も加わり、自治体・企業・開発者が連携する実践的なオープンイノベーションの場となった。



プログラム紹介

協賛企業参加可

3. ハッカソン

開発期間：10月2日～10月8日

成果発表会：10月10日(土)

対象：国内外の開発者

※審査対象となるには会場参加必須

テーマ：

1. 人を呼び込む（関係人口・観光）
2. 水産DX（漁業現場のデータ活用）
3. 地域経済（循環を促進する仕組み）



昨年度の実績 聴衆数：約100名

会場での一般投票に加え、市長をはじめとする市職員が審査員となり、ブロックチェーンやIT業界からもアドバイザリーボード企業も審査をサポート。会場には一般市民の他、地元事業者、市議や県議、市職員などが多数集まり、地元紙やケーブルTVにも取り上げられた。

2025年提出プロジェクト

3. ハッカソン（提出総数8件うち発表を行った 6件）

- ・ グルメ森：気仙沼の食堪能スタンプラリー。トロフィーやバッジをゲットし、再来を促すアプリを開発。
- ・ ケセンメント：気仙沼の記憶や思い出を3Dマップに。参加型プラットフォーム。
- ・ シェアハウス.fun：お試しシェアハウスも簡単に。共同生活の負担を減らすオンチェーン保証金管理を実現。
- ・ リールディール：仲買人はそのままに、世界各地からのセリ参加。
- ・ ケスネット：インターネットや通信手段が途絶えても「メッシュネットワーク」で労働力削減、災害対策。
- ・ ZKIoT：元データを共有せずに認証を実現するゼロ認証とIoTを組み合わせ、船の漁獲やID証明を可能にする。

使用された技術：ブロックチェーン（NFT、デポジット）、AIエージェントコマース、ゼロ知識認証など。

事前ワークショップ

協賛企業参加可

10月に開催のハッカソンに向け、地域における事前ワークショップを開催。
今年度は市職員や開発者などを対象に、行政側の需要性向上と技術の担い手育成を目指す。

事前ワークショップ（1）

日程：7月6日

対象：気仙沼市職員

定員：30名

ブロックチェーンやEthereumを公共デジタルインフラとして捉え、その仕組みや意義をわかりやすく解説し、地域産業や市内における活用の可能性を議論する。



講師

リー・エイドリアン氏
イーサリアム財団
アジアポリシー担当

事前ワークショップ（2）

日程：7月25日、9月5日

対象：市内外の開発者

定員：20名

技術の背景にある思想や社会との関係性を理解するとともに、AIを活用した開発やブロックチェーンの基礎を実践的に学び、地域課題への応用を探る



講師

大畑誠弥氏
Centrum 統括
株式会社モノバンドル CTO

協賛について

Tier	金額	ウェブサイト 会場バナー掲載	プログラム 参加権	資料 配布権	ジャッジ 参加権	登壇権
Platinum	100万円	上位	○	○	○	○
Gold	50万円	中位	○	○	—	—
Silver	30万円	○	—	—	—	—

※物品提供等も大歓迎ですので、ぜひご相談ください。

協賛について

Platinum

Gold

Silver

ウェブサイト
会場バナー掲載



主催者



スポンサー



パートナー



気仙沼ハッカツオン

未来のためのソリューション構築

宮城県気仙沼市 | 2025年10月5日-17日

協賛について

Platinum

Gold

プログラム 参加権



ETH Global 入賞者など
業界の第一線で活躍する
技術力が非常に高い
エンジニアが参加

国内外から集まる開発者が
互いに学び合い
地域課題への理解を深めながら
開発を進め市職員から
フィードバックをもらうなど
相乗効果がみられた。



市職員による課題インプットや
市内の視察に加えて
共に夕食を囲むなど
カジュアルな形での交流も

2025年はネクストウェア株式会社から3名の社員が現地参加。
若手社員や開発者が国内外の開発者と直接関わり、交流を深める機会となった。
自治体職員から直接フィードバックを得る場も。

協賛について

Platinum

Gold

イベント 資料配布権



株式会社フォーラムエイト他
資料を会場配布。

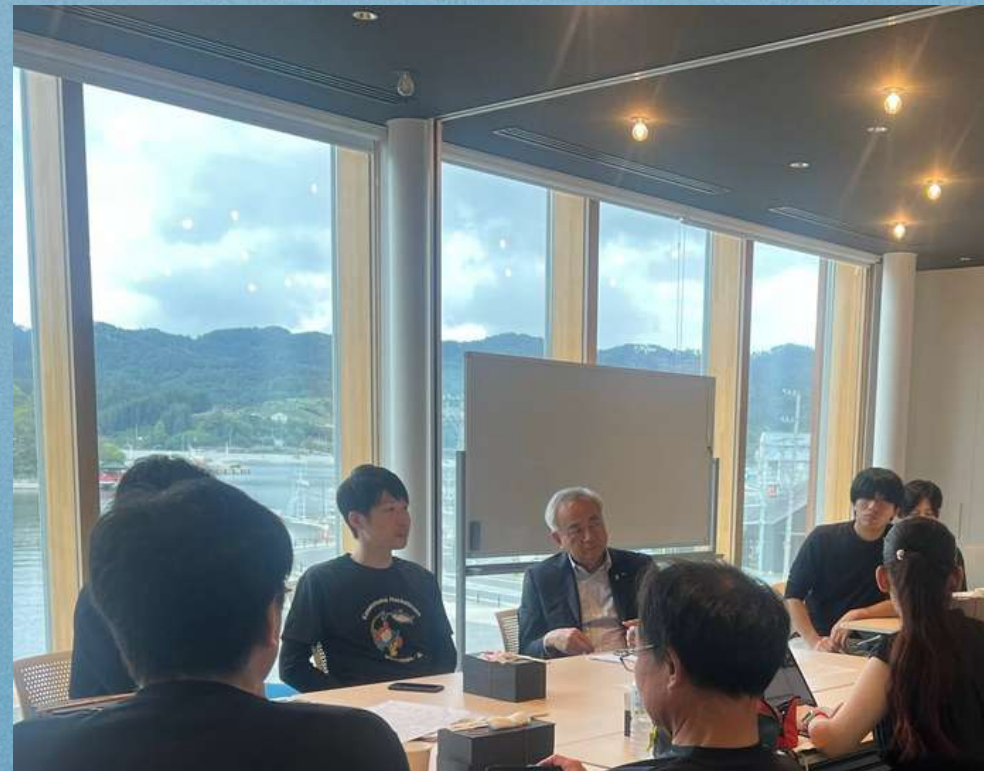
発表会 & レセプションには
約100名の観客が集まった。



協賛について

審査
アドバイザリー
ボード参加権

2025年度は
ネクストウェア株式会社
マイナウォレット株式会社
イーサリアム財団、ENS
4社がアドバイザリーボード
として審査に参加



協賛について

イベント 登壇権

2025年度は
マイナウォレット株式会社
イーサリアム財団が登壇
ブロックチェーンの
活用事例として
自社のサービスや気仙沼にお
ける技術活用の可能性に言及



去年のメディア露出

2025年度

142万
6800

UU&視聴リーチ数

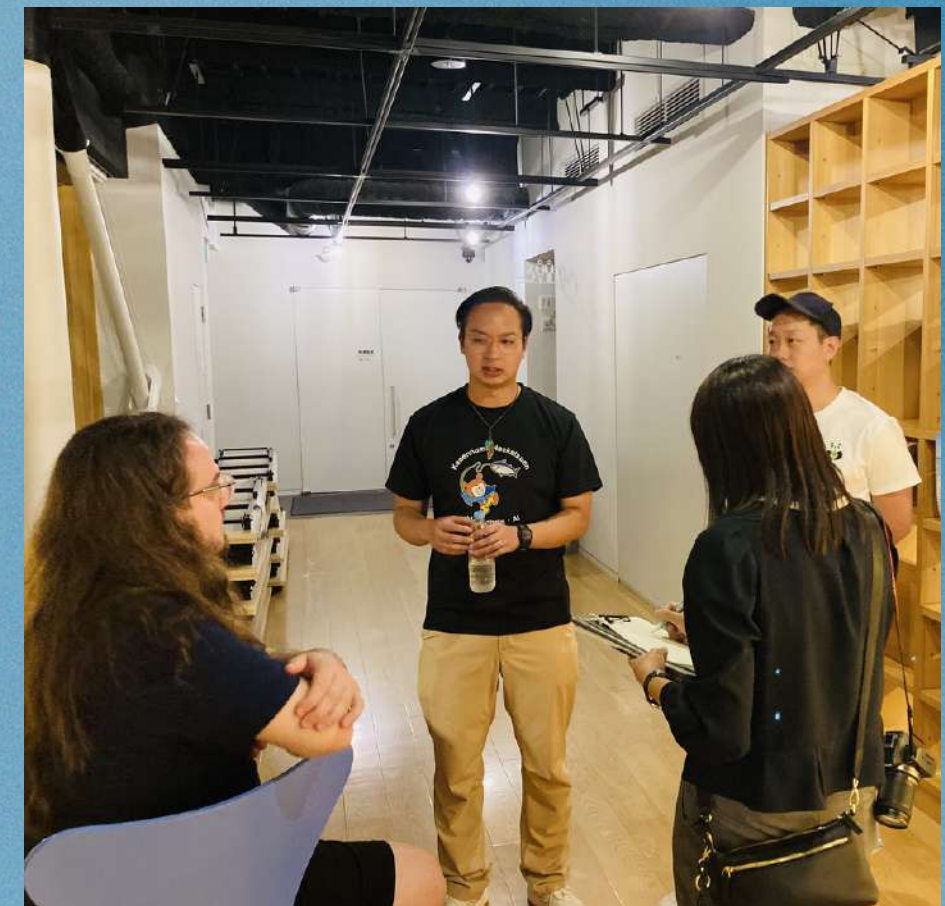
河北新報（ブロック紙）
PV：380万、UU140万

三陸新報（地域紙）
発刊数：2万部

K-Net（地元ケーブルTV）
約2000 views

市長のツイート
約4800 views

記事掲載：河北新報オンライン10/13付
三陸新報10/14付



取材を受ける開発者の様子

予算概要

拠出先	内訳	金額
事前ワークショップ	講師交通費、滞在費、交流会費用	80万円
滞在型プログラム	滞在費、食費、市内交通費、交通費補助等	220万円
ハッカソン	システム開発費、交通費補助	100万円
レセプション	交流会費、ゲストスピーカー等の滞在費、交通費	50万円
広報/製作費	ウェブサイト開発費、バナーチラシ等広報物製作費	50万円
人件費	事前準備、現地稼働、オンラインサポート他（4名）	200万円
TOTAL		700万円

運営体制 & 協力・助成

気仙沼市

行政側の調整
課題提供

イベント予算 & 協賛調達

ウィメンズアイ

全体の調整
地域と外部の橋渡し

株式会社モノバンドル
イーサリアム財団

技術等
専門性を活かした
サポート & アドバイス

トヨタ財団

研究助成

国内企業

協賛
パートナー

協賛募集6月開始～

今後の予定

6月募集開始～

6月下旬 第一次締切

7月上旬 2026年度Webページ開設

7月上旬 開発者他プログラム参加者の募集開始

7月WEプレスリリース・メディアリーチアウト開始

7月下旬 第二次締切

8月上旬 協賛確定

Contact Information

気仙沼市 産業戦略課
小野寺壯斗

o.masato0695@kesennuma.miyagi.jp

特定非営利活動法人ウィメンズアイ
五十嵐光

info@womenseye.net
070-2003-9976